



No.95 2020.12.8

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクス

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課



コミスク TwitterQR

大久保小学校より第3回学校運営協議会の様子が届きました

2020年度（令和2年度）第3回 大久保小学校学校運営協議会
12月2日（水）に、今年度3回目の大久保小学校学校運営協議会を開催しました。その次第は、次のとおりです。

- 1 はじめの挨拶
- 2 校舎施設・設備について
- 3 学校及び児童の様子について
- 4 学校評価中間まとめについて
- 5 備忘文書
- 6 おわりの挨拶

今回は、会次第の2～4について報告します。

まず2です。学校長より次の施設・設備の状況説明を行いました。（写真1）

- (1) エレベーター棟設置工事
- (2) GIGAスクール構想に係るタブレットパソコン

特に(1)については、現在工事の関係で、運動場の面積が一部狭小になっています。その工事期間が今年度末まで及びするため、その進捗を伝えるための説明を行いました。(2)については、導入予定後、タブレット操作について、歩道教員の研修・講習が必要となることを説明しました。

次に3及び4です。これらのことについては、地域連携担当教員が資料をもとに説明しました。（写真2）

3 学校及び児童の様子については、コロナ禍における学校行事（修学旅行、目標学校、体育大会、校外学習、音楽会等）や、児童の学習面・生活面について、大まかな説明をしました。その中で、委員の方から、次のような感想をいただきました。

「先日の新築（吹抜け等）は、10月22日（体育館）に本校児童の学習の様子が見学されていました。このような機軸下でもしっかりと学習に取り組んでいることがよくわかりました。たいへん嬉しいことです。」

これは、総合的な学習の時間（6年）で、感染症に対する差別防止や、感染症予防の意を呼び掛けるポスター制作をした6年生に対するためにたいへんメッセージになります。

また、昨年度より不登校児童が増えていることや、日々の欠席児童数が、過大規模校である比率からすると少ないこと（今学期、全校児童数1263名中欠席児童数が18名あり、日々の欠席児童数がおよそ2パーセントである）も報告され、そのことを驚かれた委員の方から、次のような意見もいただきました。「はっとしています。毎日、先生方が一生懸命教育活動され、たいへん感謝しております。」



4 学校評価中間まとめについては、教育課程、研究推進、生徒指導、特別活動、その他の項目に分けて報告がありました。それぞれの項目において、中間まとめとしてコロナ禍における成果と課題が報告され、委員の方から、次のような質問・意見がありました。（一部抜粋）

- （質問1）授業時数については、不足することはないか。
- （質問2）携帯電話持ち込みについて、学校としてどのように対応しているのか。

（意見）コロナ禍について、感染予防対策は重点的に取り組まれている。しかし、災害はいつ起こるかわからないので、防災における取組も訓練等で確実にしていただきたい。

（意見）臨時休校中に児童の健康状況を把握したり、各家庭と連携を図ったりするうえで、大規模校であるのに、電話回線が三つしかないのはよくない。学校規模により、増設していただくように市へ要望していくべきである。

質問については、次のように回答しています。
（回答1）授業時数については、水曜日を特別授業とし、6校時を設けることで補っています。また、各教科の学習内容を的確に把握し、カリキュラム・マネジメントを図ることで、学校教育目標実現のための教育課程を構成していく。
（回答2）現時点では、携帯電話の持ち込みは認められていない。

今回の学校運営協議会は、3学期に開催するように計画しています。現機軸下で3学期の行事がどのようになるかは明確ではありません。しかし、「笑顔あふれる学校」の学校教育目標実現に向けて、今後も委員の方のご意見ももとより、保護者・地域の方のご理解・ご協力を得て学校運営に努めまいります。

大久保小学校より、12月2日に開かれた第3回学校運営協議会の様子が届きました。

学校運営協議会では校長先生からは、エレベーター棟設置工事関係や、GIGA スクール構想によるタブレットの導入等の説明が、地域連携担当

教員からは、学校及び児童の様子、学校評価中間まとめの説明がされたようです。

そして委員の皆さんからは次のような質問や意見がだされたようです。（一部抜粋）

（質問1）授業時数については、不足することはないか。

（質問2）携帯電話持ち込みについて、学校としてどのように対応しているのか。

（意見）コロナ禍について、感染予防対策は重点的に取り組まれている。しかし、災害はいつ起こるかわからないので、防災における取組も訓練等で確実にしていただきたい。

（意見）臨時休校中に児童の健康状況を把握したり、各家庭と連携を図ったりするうえで、大規模校であるのに、電話回線が三つしかないのはよくない。学校規模により、増設していただくように市へ要望していくべきである。

委員の方から出された質問や意見はまさに、新学習指導要領の実現に向け、コミュニティ・スクールとしてGIGA スクール構想をどのように理解し、どのような学びと育ちの場を大久保小の校区全体で具体化していくのかを熟議するきっかけになったのではと思います。

学校運営協議会は、「これからの未来を創り、社会を支える子どもたちを育てるための学校づくり＝まちづくり」の視点から、①多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、②課題について学習・熟慮し、討議することにより、③互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、④解決策が洗練され、⑤個々人が納得して自分の役割をはたすようになる、という熟議をスタートし、学校を社会に開いていく場だと考えます。

大久保小学校では、今回出された質問・意見をきっかけに「いい学校づくり＝いいまちづくり」に向けた熟議が始まっていくのではと思っています。



最近YouTubeで教育に関する動画を見る機会が増えています。そのせいか、YouTubeを立ち上げるとホーム画面に教育に関する動画が何個かは必ず案内されています。こうやってAIに私の情報が把握されていていっているんだろかなと実感します。私自身がYouTubeを観るようになったのはここ数年です。最近はこうした教育番組の視聴だけでなく、趣味等も含めYouTubeで学んでいることが多いと感じます。そうしたことを実感されている方は多いのではと思います。教育に限らずコロナ禍の中でオンラインでの研修会が増え、それがYouTubeにアップされることが多くなっているように思います。今回ご紹介した茨城県教育研修センターは「Online ED Café」として大空小学校の木村泰子元校長の話聞く機会をシリーズで持ったり、木村泰子先生と苫野一徳先生の対談を企画したり、今回の工藤先生の企画など今後の学びのあり方など先進的な研修を企画されており、それをYouTubeで公開してい

ただいているので本当にありがたいです。こうした研修会がオンライン開催やYouTubeでの公開により、時間・場所に関係なく視聴できたり、何回かに分けて視聴できたりと学びのハードルが低くなりました。私自身、こうした環境が整わなかったら、ここにご紹介している工藤先生の話聞く機会など持たなかったのではと思います。反面これまでのようなリアルに集まる研究発表会や研修会等はコロナ禍で中止・延期されることが多くなり、リアルな場で教師が学ぶ場が少なくなっているという状況もあります。こうした状況の中で教師自身も“学びを止めない”ための工夫もいるのではと思います。これからの社会の中で自分に必要な学びを選択し、自分で求めてスキルアップしていくことが必要になってきているのだと感じます。

また、YouTube等で上記の工藤先生や「未来の教室」等、今後の教育のあり方についての動画がどんどんアップされ、学校関係者だけでなく、保護者も含め一般市民の方も視聴できる環境になってきています。これまでの学習指導要領の改訂と大きく違うところは、コロナでの休校等で学校での学びのあり方への関心が高まっている中で、目に見える形で今後の教育の方向性がネットの中でだれもが見ることができるようになってきていることではと思います。これからの時代の中で求められる資質・能力を育むための方向性が“見える化”されていると感じます。それだけに、学校運営協議会委員さんだけでなく、保護者の皆さん、地域の皆さん、そして子どもにもこうした動画を視聴していただけるよう呼び掛け、対話を行っていくことが子どもの成長を通して持続可能な社会づくりに向けた未来志向の一步が踏み出せるのではと考えます。

(文責:北本)